

内訳書 参考書式 A - 1

全ての工事の内訳

給付申請に係る部品については、材料費（仕様を明記する）と施工賃を適切に区分する。材料名などは専門用語を避け、誰にでも分かりやすい表記にする（例：PB 石膏ボード、SUS ステンレスなど）。

介護保険対象部分を明示する（別紙に抜き出しても可）

対象部分を抽出する場合は、その工事範囲を明示する。

部屋名	部分	名称	内容（仕様）	数量	単価	金額	対象部分		住宅改修の種類	算出根拠
							数量	金額		
1階洋室	壁	既存壁撤去	石膏ボード厚12mm撤去		m ²			m ²	(1)	手すり設置に係る対象部分を m ² で算出
		下地補強および壁仕上げ	石膏ボード厚12mm、クロス貼り				m ²	(1)	同上	
	手すり	手すり	木製（金具ステンレス製）		m			m	(1)	
		同取り付け工賃							(1)	
			1階洋室計						(1)	
1階和室・DK	既存壁・床撤去			1	式		1 式	(3)	対象（床）部分を大工手間比率 2 / 3 で按分	
	床	フローリング張り	ナラ材厚13mm下地および木製巾木h=60共		m ²		m ²	(3)		
	壁	月桃紙	軸組み、下地（石膏ボード12mm）、		m ²					
	天井	木質ボード張り	製厚9mm、下地、回り縁共		m ²					
	家具・雑	カウンター収納棚	w=1800 h=900							
			両開き扉 ナラ突板フラッシュ、金物OS塗装共			m ²				
			1階和室・DK計						(3)	
		小計								
		諸経費			%			%		
		合計								
		消費税		5	%		5	%		
		総合計								

対象範囲を明示するのが困難な項目については按分をして、その根拠を示す。

住宅改修の種類を明示する。

内訳書 参考書式 A - 2

部屋名	部 分	名 称	内 容 (仕 様)	数 量		単 価	金 額	対 象 部 分		住宅改修 の種類	算出根拠
								数 量	金 額		
1階トイレ 増築部	撤去	既存壁及び和式便器、床(タイル)撤去		1	式			1	式	(3)(5)	便器床部分を1/3で按分
	基礎	布基礎			m						
	木工事	新設壁、土台および根太など	構造材土台(桧)、下地材含む		m ²						
	屋根工事	屋根葺、雨樋共	ガルバリウム鋼板		m ²						
	金属製建具	アルミ引き違い窓	w1200×h900		1						
	外壁	合板12mmの上、通気胴ぶち、サイディング			m ²						
	内装・壁	壁・天井:石膏ボード12mmの上クロス張り			m ²						
	内装・床	床:CF(クッションフロア)貼り	合板 厚12mm下地共		m ²				m ²	(3)	
	便器	洋式便器(暖房便座付き)	製 ABC-defg1234		1				1		(5)
		便器取付け工賃			1	式			1	式	(5)
	給排水工事	配管等				m				m	(5)
		小 計									
		諸 経 費				%					
		合 計									
	消 費 税				5%						
	総 合 計										

対象部分の総合計
(総合計が申請額以上であればよい)